

教 育 研 究 業 績 書

氏名 中村 聡美

学位：博士（心理学）

研 究 分 野	研究内容のキーワード	
心理学	臨床心理学	
主要担当授業科目	「心理実習」「心理演習（心理支援実習）」「臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習Ⅲ）」「臨床心理基礎実習Ⅰ」「臨床心理実習Ⅱ」「臨床心理基礎実習Ⅱ」「心理実践実習Ⅱ」	
教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項		
事項	年月日	概要
<p>1 教育方法の実践例</p> <p>1) 心理臨床における実務を通じた臨床指導</p> <p>2) アクティブラーニング導入による授業の実践</p> <p>3) 各臨床専門家によるオムニバス形式の授業の実践</p>	<p>平成 17 年 7 月～現在</p> <p>平成 30 年 4 月～7 月, 令和 3 年 4 月～現在</p> <p>令和 3 年 4 月～現在</p>	<p>NTT 東日本関東病院精神神経科では、大学院心理学専攻の実習生を受け入れて実習指導（心理査定、集団精神療法、リワークプログラム等）を行っている。</p> <p>東京学芸大学の「医療とカウンセリング」および、筑波大学の「臨床心理基礎実習」「心理実践実習ⅠA」「心理実践実習ⅠB」「心理学キャリア形成」では、学生同士がグループディスカッションを通して積極的に授業に参加できるよう講義を構成した。</p> <p>筑波大学の「臨床心理基礎実習」「心理実践実習ⅠA」「心理実践実習ⅠB」（オンライン）では、自身の所属する総合病院内の小児科、循環器科、リエゾン等の各科で心理臨床を実践している複数の専門家による動画を作成し、病院臨床を身近に感じてもらえるよう視聴してもらいながら講義を行った。</p>
<p>2 作成した教科書，教材</p> <p>さあ はじめよう うつ病の集団認知行動療法</p> <p>就労継続のための集団認知行動療法</p>	<p>平成 20 年 7 月</p> <p>平成 28 年 4 月～現在</p>	<p>医学映像教育センターより初学者，実践者向けの DVD 付き書籍を出版した（分担執筆）。</p> <p>所属医療機関にて、博士論文を参考に患者用テキストを作成し、集団認知行動療法見学の心理実習生にも学習用として配布している。</p>
<p>3 教育上の能力に関する大学等の評価</p>		<p>特記事項なし</p>

<p>4 実務の経験を有する者についての特記事項</p> <p>1) 総合病院精神神経科での心理臨床全般</p> <p>2) 企業内産業保健チームでの心理臨床業務全般)</p>	<p>平成 17 年～現在</p> <p>平成 31 年～2024 年 3 月</p>	<p>NTT 東日本関東病院精神神経科において、各種心理査定、心理面接、集団精神療法、地域援助、調査研究などの業務をおこなうと共に、チーム医療においては精神保健福祉士などとも連携し患者を地域と繋げる業務にも携わっている。</p> <p>ウーブン・バイ・トヨタにおいて、産業医、医療機関等と連携しながら、心理面接、上司・人事へのコンサルテーション、危機介入、社員研修を実践した。</p>
<p>3) うつ病の集団認知療法, 第 4 回日本うつ病学会</p>	<p>平成 19 年</p>	<p>ワークショップ講師</p>
<p>4) 青山学院大学文学研究科修士向け研修会</p>	<p>平成 19 年</p>	<p>認知行動療法ワークショップ講師</p>
<p>5) ヒューマンフロンティア研修</p>	<p>平成 20 年</p>	<p>「職場復帰のための集団認知療法」講師</p>
<p>6) 日本臨床心理士会ワークショップ第 2 分科会 第 14 回医療における心理臨床</p>	<p>平成 20 年</p>	<p>医療場面での技法「うつ病の集団認知療法」講師</p>
<p>7) 障害者職業総合センター職業センター開発課研修会</p>	<p>平成 20 年</p>	<p>職業生活移行支援員等に対する研修「職場復帰のための集団認知療法」講師</p>
<p>8) 東京臨床心理士会 産業領域専門委員会主催第 2 回産業領域研修会分科会</p>	<p>平成 20 年</p>	<p>「“組織人”の回復～医療現場からのリワーク支援」講師</p>
<p>9) 関東心理相談員会 2 月能力向上研修会</p>	<p>平成 20 年</p>	<p>「三次予防の実際, 職場復帰支援～うつ病の集団認知行動療法一」講師</p>
<p>10)(特)ひょうごセルフヘルプ支援センター平成 20 年度研修会</p>	<p>平成 21 年</p>	<p>「うつ病の集団認知行動療法」講師</p>
<p>11) 日本認知療法学会第 9 回日本認知知行動療法学会ワークショップ</p>	<p>平成 21 年</p>	<p>「うつの集団認知行動療法」講師</p>
<p>12) 立正大学心理学部平成 21 年度臨床心理学実習</p>	<p>平成 21 年</p>	<p>医療領域での心理職業務の実際「うつ病の集団認知行動療法」講師</p>
<p>13) 集団認知行動療法研究会第 2 回基礎研修会</p>	<p>平成 21 年</p>	<p>基礎研修会講師</p>
<p>14) 神奈川県障害者就労相談センター企画調整課障害者就労支援業務従事者研修会</p>	<p>平成 22 年</p>	<p>「就労支援に活かす認知行動療法～うつ症状へのアプローチ～」講師</p>

15)紫雲会 横浜病院平成 21 年度 神奈川県自立支援者相談会	平成 22 年	「職場復帰のための集団認知行動療法～うつ症状へのアプローチ～」講師
16)慶應義塾大学保健管理センター 認知行動療法勉強会	平成 22 年	「Mayo Clinic 研修報告-CBGT を中心としたプログラムの紹介」講師
17)立正大学心理学部平成 22 年度 臨床心理学実習	平成 22 年	「医療領域での心理職業務の実際「うつ病の集団認知行動療法」」講師
18)大分県総務部平成 22 年度心の 健康づくりセミナー	平成 22 年	「アサーショントレーニング～言いたいことを上手に伝えるコツを学ぶ～」講師
19)立正大学心理臨床センター 第 11 回立正大学心理臨床セミナー	平成 22 年	「臨床実践に役立つ理論と技法」講師
20)日本認知療法学会	平成 22 年	集団認知行動療法ワークショップ講師
21)集団認知行動療法研究会第 3 回基礎研修会	平成 22 年	基礎研修会講師
22)東京認知行動療法アカデミー 第 22 回ワークショップ	平成 23 年	「うつ病の集団認知行動療法」講師
23)立正大学心理学部平成 23 年度 臨床心理学実習	平成 23 年	「医療領域での心理職業務の実際」講師
24)集団認知行動療法研修会第 4 回基礎研修会	平成 23 年	基礎研修会講師
25)公立大学法人福島県立医科大学 研修会	平成 23 年	「認知行動療法の基本的知識 うつ病患者に対する認知行動療法の実際」講師
26)大分県総務部平成 23 年度心の 健康づくりセミナー	平成 23 年	「ストレスに強くなるこころの持ち方」講師
27)日本認知療法学会	平成 23 年	集団認知行動療法ワークショップ講師
28)公立大学法人福島県立医科大学 精神科医療スタッフ対応力強化事業(福島県自殺対策緊急強化基金委託事業)	平成 23 年	「リワークプログラムの実際一多職種によるアプローチ」講師
29)横浜市健康福祉局高齢在宅支援課 横浜市訪問指導(訪問型介護予防)事業 従事者研修会	平成 24 年	「高齢者のうつ予防・支援」講師
30)群馬臨床心理士会第 18 回群馬 心理臨床セミナー	平成 24 年	「うつ病の復職支援～医療領域におけるリワークプログラムの実際～」講師

31)茨城県保健福祉部障害福祉課 研修会	平成 24 年	「認知行動療法基礎研修会 1」講師
32)茨城県保健福祉部障害福祉課 研修会	平成 24 年	「認知行動療法基礎研修会 2」講師
33)立正大学心理学部平成 24 年 度臨床心理学実習	平成 24 年	「医療領域での心理職業務の実際」講師
34)NTT 労働組合大阪グループ連 絡協議会メンタルヘルス研修会	平成 24 年	「職場復帰のための集団認知行動療法」講師
35)茨城県精神保健福祉センター 平成 24 年度研修会	平成 24 年	「うつ病集団認知行動療法」講師
36)大分県総務部平成 24 年度 心 の健康づくりセミナー	平成 24 年	「ストレスに強くなるこころの持ち方」講師
37)徳之島町保健センター平成 24 年度自殺対策,メンタルヘル ス研修会及び講演会	平成 24 年	「こころの健康づくり講演会」講師
38)大分県こころとからだの相談 支援センター	平成 25 年	「平成 25 年度 CBT 研修会」講師
39)茨城県保健福祉部障害福祉課	平成 25 年	「認知行動療法基礎研修会 1」講師
40)茨城県保健福祉部障害福祉課	平成 25 年	「認知行動療法基礎研修会 2」講師
41)東京臨床心理士会倫理研修会	平成 26 年	「身近な人権について考えよう 心理臨床と法 の視点から一チーム医療とプライバシー」講師
42)福島市保健福祉センター平成 26 年度原子力災害影響調査等 事業	平成 26 年	「住民の対話を促すためのファシリテータ研修 会」講師
43)福島県相双保健福祉事務所い わき出張所平成 26 年度原子力 災害影響調査等事業	平成 26 年	「ファシリテーション・スキルの実践～みんな で元気になるコミュニケーション～」講師
44)茨城県精神保健福祉センター 平成 26 年うつ病集団認知行動 療法研修会	平成 26 年	「集団認知行動療法の実践例ー職場復帰のため の集団認知行動療法ー」講師
45)茨城県精神保健福祉センター 平成 26 年うつ病集団認知行動 療法研修会	平成 26 年	「行動への介入ー行動活性化ー」講師
46)日本精神科看護協会研修会	平成 26 年	「気分障害の理解とケア」講師
47)茨城県精神保健福祉センター 平成 27 年うつ病集団認知行動 療法研修会	平成 27 年	「集団認知行動療法の実践例ー職場復帰のため の集団認知行動療法ー」講師

48)茨城県精神保健福祉センター 平成 27 年うつ病集団認知行動療法研修会	平成 27 年	「行動への介入ー行動活性化ー」講師
49)島根あさひ社会復帰促進センター研修会	平成 27 年	「集団認知行動療法の基礎と実践」講師
50)認知作業療法研究会研修	平成 27 年	「アドバンストコース研修会「職場復帰のための集団認知行動療法の実際」講師
51)日本精神科看護協会研修会	平成 28 年	「気分障害の理解とケア」講師
52)茨城県精神保健福祉センター 平成 28 年うつ病集団認知行動療法研修会	平成 28 年	「集団認知行動療法の実践例ー職場復帰のための集団認知行動療法ー」講師
53)茨城県精神保健福祉センター 平成 28 年うつ病集団認知行動療法研修会	平成 28 年	「行動への介入ー行動活性化ー」講師
54)集団認知行動療法研究会基礎研修会	平成 28 年	「集団認知行動療法とは」講師
55)集団認知行動療法研究会中級研修会	平成 28 年	「ピアスーパーヴィジョン」講師
56)日本精神科看護協会	平成 29 年	「気分障害の理解とケア」講師
57)茨城県精神保健福祉センター 平成 29 年うつ病集団認知行動療法研修会	平成 29 年	「集団認知行動療法の実践例ー職場復帰のための集団認知行動療法ー」講師
58)茨城県精神保健福祉センター 平成 29 年うつ病集団認知行動療法研修会	平成 29 年	「行動への介入ー行動活性化ー」講師
59)品川区保健センター平成 28 年度品川保健センター精神保健地域サポート講演会	平成 29 年	「うつ病のための認知行動療法」講師
60)日本心理臨床学会第 36 回大会職能委員会企画シンポジウム	平成 29 年	「他職種と連携する領域での心理臨床家としての独自性と専門性 その 1(医療領域)」シンポジスト
61)日本精神科看護協会研修会	平成 30 年	「気分障害の理解とケア」講師
62)立正大学大学院医療臨床心理学	平成 30 年	「総合病院における臨床心理士の活動」講師
63)名古屋市精神保健福祉センター平成 29 年度名古屋市認知行動療法普及研修	平成 30 年	「『職場復帰のための集団認知行動療法』の実際について」講師
64)城県精神保健福祉センター平成 30 年うつ病集団認知行動療法研修会	平成 30 年	「行動への介入ー行動活性化ー」講師
65)日本精神科看護協会研修会	令和元年	「気分障害の理解とケア」講師

66)城県精神保健福祉センター平成 31 年うつ病集団認知行動療法研修会	令和元年	「行動への介入ー行動活性化ー」講師
67)第 19 回 日本認知療法・認知行動療法学会 大会企画シンポジウム 14	令和元年	「エビデンスを『つくる』『つたえる』『つかう』ー量的・質的・混合研究法の課題集団認知行動療法によるうつ病休職者のストレス処理の変化に関する混合型研究」シンポジスト
68)茨城県精神保健福祉センター令和 2 年うつ病集団認知行動療法研修会	令和 2 年	「行動への介入ー行動活性化ー」講師
69)第 21 回日本認知療法・認知行動療法学会 CT 大会企画シンポジウム 2	令和 3 年	「産業分野における認知行動療法の実践と多職種連携」シンポジスト
70)第 22 回日本認知療法・認知行動療法学会 CT 大会企画シンポジウム 3	令和 4 年	「医療機関におけるリワークプログラムの現状と集団認知行動療法の活用」シンポジスト
71)日本総合研究所日総研グループ公開セミナー	令和 4 年	「初学者のための認知行動療法」講師
72)ウーブン・バイ・トヨタ	令和 5 年	「WCM マネージャー向けコミュニケーション研修」講師
5 その他		特記事項なし

職務上の実績に関する事項

事項	年月日	概要
1 資格、免許		
看護婦免許証	昭和 61 年 5 月 14 日	厚生省 568805
臨床心理士	平成 16 年 4 月 1 日	財団法人日本臨床心理士資格認定協会 11486
公認心理師	平成 31 年 2 月 5 日	文部科学省, 厚生労働省 第 12766 号
第一種衛生管理者免許	令和元年 12 月 24 日	厚生労働省 第 60077401961 号
2 特許等		特記事項なし
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
学会発表 (ポスター発表)		
1)2007 世界行動療法認知療法会議 バルセロナ	平成 19 年	Return to Work after Sick Leave due to Depression: Report of Cognitive Behavioral Group Therapy (Miyuki Tajima, Satomi Nakamura, Yoshie Okada, Hatsue Numa)
2)第 5 回 世界行動療法認知療法会議 バルセロナ	平成 19 年	Categorization of cognition with depressive company employees (Satomi Nakamura, Yoshie Okada, Tsuyoshi Akiyama)
3)第 26 回日本社会精神医学会	平成 19 年	集団認知行動療法を用いた復職支援 ～うつ病休職者を対象に～ (田島美幸, 中村聡美, 岡田佳詠, 音羽健司, 沼初枝, 大野裕, 秋山剛)

4)第5回日本うつ病学会	平成20年	女性うつ病患者を対象とする集団認知療法プログラムの効果の検討 (岡田佳詠, 中村聡美, 田島美幸, 曾根原純子, 矢内里英, 沼初枝, 渡邊球美, 秋山剛)
5)第8回日本認知療法学会	平成20年	女性うつ病患者を対象とした集団認知療法プログラムの効果-終了後3ヶ月までの量的・質的データの分析から- (岡田佳詠, 中村聡美, 田島美幸, 渡邊球美, 秋山剛)
6)第8回認知療法学会	平成20年	うつ病休職者の職業性ストレス調査 - 集団認知療法参加者を対象に- (中村聡美, 岡田佳詠, 田島美幸, 秋山剛)
7)第6回日本うつ病学会	平成21年	女性うつ病患者が集団認知行動療法終了後に継続的に活用している学習内容-3ヶ月時点の面接データの分析から- (岡田佳詠, 中村聡美, 田島美幸, 秋山剛)
8)第6回日本うつ病学会総会	平成21年	うつ病休職者の職場ストレスに関する認知・行動の質的分析 (中村聡美, 田島美幸, 岡田佳詠, 山岡由実, 谷口須美恵, 秋山剛)
9)第6回 世界行動療法認知療法会議 ポストン	平成22年	A Follow-up of the Effects of Cognitive Behavior Group Therapy Program in Female Patients with Depression in Japan (Yoshie Okada, Satomi Nakamura, Tsuyoshi Akiyama, Miyuki T)
10)日本心理学会第75回大会	平成23年	うつ病の初回休職者と複数回休職者の休職前職業性ストレス要因の比較
11)7th International Congress of Cognitive Psychotherapy	平成23年	Effectiveness of Cognitive-Behavioral Group Therapy in Female Patients with Depression in Japan (Okada Y, Nakamura S, Akiyama T, Tajima M)
12)日本質的心理学会第10回大会	平成25年	認知行動的観点からみたうつ病労働者のストレス処理のプロセス-メビウスの輪的労働スタイルの維持と病的スピニアウトの様相-
13)日本心理臨床学会第33回大会	平成26年	文字の記入された風景構成法についての検討 (堀井清香, 中村聡美, 河口英子, 沼初枝)
14)第2回日本混合研究法学会	平成28年	うつ病休職者の職場ストレス処理過程に関する混合型研究
15)第25回日本緩和医療学会学術大会	令和2年	患者のがん治療拒否という自己決定に疾病妄想が絡んだと考えられる一例 (窪倉正三, 布留川貴也, 大谷真, 中村聡美, 秋山剛)
16)第19回日本うつ病学会総会/第5回日本うつ病リワーク協会年次大会	令和4年	再休職予防を目的とした『就労継続のための集団認知行動療法』プログラムの開発 (中村聡美, 谷口須美恵, 井村昌子, 長部俊一, 牧野貴郁, 大路友惇, 秋山剛)
学会発表 (口頭発表)		
1)第7回認知療法学会	平成19年	集団認知療法におけるうつ病休職者の認知のカテゴリー化の試み (中村聡美, 岡田佳詠, 田島美幸, 秋山剛)

科研費(単独)		
1)独立行政法人日本学術振興会	平成 29 年	平成 29 年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)(科学成果公開促進費)「学術図書」JP17HP5206(NTT 東日本関東病院)(配分額 1,400,000 円)
外部資金受給実績		
1)(財)メンタルヘルス岡本記念財団	平成 20 年	(財)メンタルヘルス岡本記念財団活動助成金 うつ病就労者の職場ストレスに関する認知特性の質的分析～インタビュー調査結果をグラウンデッド・セオリー・アプローチにて分析する～ (400,000 円)
2)精神分析学振興財団	平成 20 年	精神分析学振興財団研究助成金 うつ病就労者の職場ストレスに関する認知特性の質的分析～インタビュー調査結果をグラウンデッド・セオリー・アプローチにて分析する～ (200,000 円)
査読協力		
『応用心理学研究』	令和 6 年年 7 月	日本応用心理学会の刊行する『応用心理学研究』について、投稿論文の査読を担当した。
4 その他 特になし		

研 究 業 績 等 に 関 する 事 項

学位論文(修士論文・博士論文)	修士・博士の別	学位取得の年月	取得大学名	概 要
1)「うつ病休職者の職場ストレス処理の変容過程—集団認知行動療法による介入に関する混合型研究—」	博士	平成 28 年 3 月	青山学院大学	うつ病で休職に至った労働者の心理的側面、特に認知及び対処行動に焦点を当て、当事者の語りから職場ストレスとの関連を検討した。同時に、「職場復帰のための集団認知行動療法」プログラムの効果を、質的・量的分析手法により検討し、再発・再休職予防の心理的支援のための示唆を得ることを目的とした。
著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(学術論文: 査読有り)				
1) うつ病再休職者における職場ストレス要因の検討—初回休職者との比較調査	共著	平成 25 年	日本社会精神医学会	日本社会精神医学会雑誌 第 22 号 10-19 中村聡美, 秋山 剛, 酒井佳永, 沼初枝, 岡田佳詠, 北村文昭
2) うつ病の企業従業員の職場ストレス処理に関わる認知および行動のプロセス	単著	平成 27 年	日本応用心理学会	応用心理学研究 第 41 巻, 156-166

3) 集団認知行動療法によるうつ病休職者のストレス処理の変容過 (学術論文: 査読無し)	単著	平成 30 年	日本カウンセリング学会	カウンセリング研究. 51 巻: 1-13.
1) 職場復帰のための集団認知行動療法 特集 精神科医療現場で広がる認知行動療法)	共著	平成 29 年	日本精神科病院協会	日本精神科病院協会雑誌 362), 103-108 中村聡美, 谷口須美恵, 長部俊一, 牧野貴郁, 若林淳一, 佐藤洋輔,
2) 第 19 回日本認知療法・認知行動療法学会シンポジウム 1) チーム医療の厚みを活かす 集団認知行動療法	共著	令和 3 年	日本認知療法・認知行動療法学会	認知療法研究 第 14 巻 1 号, 1-10 中村聡美, 長井麻希江, 谷口須美恵, 山本正浩, 佐藤 真, 渡部亜矢子
3) 第 21 回日本認知療法・認知行動療法学会シンポジウム 2 産業分野における認知行動療法の実践と多職種連携	共著	令和 4 年	日本認知療法・認知行動療法学会	認知療法研究 第 15 巻 2 号, 123-132 岡田佳詠, 川野 直久, 田上 博喜, 泉 武康, 中村聡美
4) 人間科学研究の実施における倫理問題 (その他: 著書)	共著	令和 4 年	青山学院大学国際研究センター	Aoyama Journal of International Studies 9), 63-66 抱井尚子, R. Evanoff, 八田太一, 中田亜希子, 中村聡美, 成田慶一
1) 心理検査①②③④	分担執筆	平成 27 年	学研メディカル秀潤社	精神神経疾患ビジュアルブック, 7-73
2) うつ病休職者の集団認知行動療法に関する混合型研究	単著	平成 30 年	風間書房	全 287: 中村博論の書籍化
3) 第 5 章 職場復帰のための集団認知行動療法	分担執筆	令和 2 年	培風館	集団認知行動療法の進め方, 130-135
4) 第 1 章 Topic 7 質的研究法を用いた職場ストレス処理に関する研究	分担執筆	令和 4 年	福村出版	応用心理学ハンドブック, 24-27
5) 認知行動療法の臨床活用	分担執筆	令和 5 年	日総研	対人援助職のためのセラピー講座
(その他: 書評)				
1) 「質的心理学辞典」	単著	平成 31 年	日本精神衛生会	心と社会 176 号
2) 「まんが やってみたいくなるオープンダイアログ」	単著	令和 3 年	日本精神衛生会	心と社会 186 号

3) 「妊娠中および産後の不安と抑うつのための認知行動療法」	単著	令和 5 年	日本精神衛生会	心と社会 191 号
(学会報告：ポスター発表)				特記事項以外、概要についての記入の必要はありません。
1) 認知行動的観点からみたうつ病労働者のストレス処理のプロセス—メビウスの輪的労働スタイルの維持と病的スピニアウトの様相—	単著	平成 25 年	日本質的心理学会	日本質的心理学会第 10 回大会
2) 文字の記入された風景構成法についての検討	共同	平成 26 年	日本心理臨床学会	日本心理臨床学会第 33 回大会 堀井清香, <u>中村聡美</u> , 河口英子, 沼初枝
3) うつ病休職者の職場ストレス処理過程に関する混合型研究	単著	平成 28 年	日本混合研究法学会	第 2 回日本混合研究法学会
4) 患者のがん治療拒否という自己決定に疾病妄想が絡んだと考えられる一例	共同	令和 2 年	緩和医療学会	第 25 回日本緩和医療学会学術大会 窪倉正三, 布留川貴也, 大谷真, <u>中村聡美</u> , 秋山剛
5) 再休職予防を目的とした『就労継続のための集団認知行動療法』プログラムの開発	共同	令和 4 年	日本うつ病学会	第 19 回日本うつ病学会総会／第 5 回日本うつ病リワーク協会年次大会 <u>中村聡美</u> , 谷口須美恵, 井村昌子, 長部俊一, 牧野貴郁, 大路友惇, 秋山 剛
(学会報告：シンポジスト)				
1) 他職種と連携する領域での心理臨床家としての独自性と専門性その 1(医療領域)		平成 29 年	日本心理臨床学会	日本心理臨床学会第 36 回大会職能委員会企画シンポジウム
2) エビデンスを『つくる』『つたえる』『つかう』—量的・質的・混合研究法の課題集団認知行動療法によるうつ病休職者のストレス処理の変化に関する混合型研究		平成 31 年	日本認知療法・認知行動療法学会	第 19 回 日本認知療法・認知行動療法学会 大会企画シンポジウム 14

<p>3) 産業分野における 認知行動療法の実践と 多職種連携</p> <p>4) いまリワークに求 められていること： with/after コロナ時代 の新たなゴールとは、 そして認知行動療法 のできることは</p>		<p>令和3年</p> <p>令和4年</p>	<p>日本認知療法・認 知行動療法学会</p> <p>日本認知療法・認 知行動療法学会</p>	<p>第21回日本認知療法・認知行動療 法学会 CT大会企画シンポジウム2</p> <p>第22回日本認知療法・認知行動療 法学会大会企画シンポジウム3</p>
--	--	-------------------------	---	--